



楽しかったお正月が終わり、あっという間に2月に入りました。まだまだ寒い日が続き、春が待ち遠しい今日この頃。風邪もひいてるし体調も優れないしなあ。こんな時だからこそ「口腔ケア」をしっかりと行って免疫力アップ！



## 保険診療と自費診療って何が違うの？

日頃治療をされていて気になっている方もいらっしゃると思いますが、今月は「保険診療と自費診療の違い」についてご説明いたします。

日本では国民皆保険制度により、原則どなたも医療保険に加入されています。比較的少ない負担で医療を受けることができ、世界水準からみてもとてもありがたい制度です。例えばアメリカの歯科治療は、自費診療であるため治療費がとても高額です。根の治療などは、1つの根管だけでおよそ**1,000ドル(日本円で10万円強)**もします。それに対し、日本の医療保険制度は、必要な処置に対して国からの給付が受けられ、**良質で比較的安価に受診することができます。**

ただ、医科の診療と違い歯科診療の先進医療については、CAD/CAM冠など一部保険診療に適用となった例もありますが、基本的には自費診療です。

技術や歯科材料など日々進化しており、また審美的かつ機能的な要素を追求するには、インプラントやセラミックなどの処置が必要になるケースがあります。

保険診療と自費診療で最も大きく違うものの一つに「義歯(入れ歯)」があります。義歯は、失った歯を補うために装着する取り外し式の物です。

一見、「保険診療の義歯」と「自費診療の義歯」は同じように見えますが、構造が異なることにより快適性が変わってきます。ちなみに自費診療の義歯では、バネを目立たなくできたり、薄くて丈夫にしたり、審美的な入れ歯でないような義歯の製作も可能です。



芝浦桂歯科診療所では、基本的なスタンスとして保険診療を主体に考えています。可能な限り保険診療の中でも良質な技術や材料の検討を重ね、診療にあたっていますが、使用できる技術や材料には限りがあり、場合によっては自費診療で処置した方が望ましいケースもあります。

ご希望がある方には、症例に応じてそれぞれのメリット・デメリットをご説明しています。

無理におすすめはしていませんのでお気軽にご相談ください。





## 歯周病の治療に力を入れています

芝浦桂歯科診療所では、日頃より歯周病の治療に力を入れています。歯周病は、進行している間症状があまりない事が多く、気が付いた時には手遅れなケースがあります。

例えば、虫歯治療や、セラミックなどの審美的な治療をする予定でも、歯周病の治療は欠かせません。何故なら、歯茎が腫れていると綺麗な処置ができず、出血を起こせば綺麗な型取りも難しくなるからです。



また近年、歯周病と全身疾患の関わりが重視されており、口腔は免疫の第一線といわれています。

予防、治療を行うことによって、例えば生活習慣病やその諸症状や合併症を予防する事にもつながり、口腔と全身との関わりはとても大切です。

**福袋は好評につき終了いたしました！！**

今回初の試みで、日頃お使いの口腔ケア製品を中心にしたスペシャルセットをご用意しました。今後も皆様に喜ばれる企画をご提供してまいります。ご利用ありがとうございました。